


# 平成28年度 景観バスツアー 見学場所説明

景観バスツアーにご参加いただき、ありがとうございます。

本日は、次の順番で見学します。

のマークがある場所では下車します。その他は車窓からご覧ください。

科学館以外の場所では、建物の中に入ることはできませんのでご了承ください。  
(手洗いの利用を除く)

## 1 旭川グランドホテル(第3回都市景観賞) 6条通9丁目

緑に映えるレンガの壁面が、隣の市役所のレンガの壁面と連動して付近一帯に落ち着いた雰囲気を出しています。

歩道に接するところでは、建物の形、植栽、照明などに細やかな配慮が見られ優れた歩行環境を創出しています。

建物の低層部分は、大正9年に4条通8丁目に市内で最初のホテルとして建設された、北海ホテルの屋根と窓のデザインを再現しています。



## 2 7条緑道(第6回旭川市景観奨励賞) 7条通5~8丁目

昭和48年に整備された道路です。当初は、買物公園と同じように歩行者専用にする案もあったようですが、現在のとおり、道路の中央に歩行者専用通路を設けた形になりました。

平成25年度まで改修が行われ、道路のバリアフリー化や老朽化していた施設の更新、野外彫刻の再配置が行われました。

冬期間にはイルミネーションが設置され、平成26年からリニューアルしたドーム型のイルミネーションがこの場所ならではの冬の景観となっています。



## 3 常磐公園(旭川八景)

大正5年に開園し、今年で開園100年を迎えました。

市の中心部に位置し、都心のオアシスとして多くの方に親しまれています。園内にはニレ、ドロ、トドマツ、ポプラの並木、白鳥の池、千鳥ヶ池の二つの池や中央花壇などが整備され、豊かな緑と水辺の景観を楽しめます。また、道立美術館のほか、図書館、公会堂、常磐館内の文学資料館があり、公園内には野外彫刻などが多く置かれ、文化芸術にも関わりの深い場所です。

平成元年には「日本の都市公園100選」に選定されました。



## 4 旭橋(旭川八景)

明治25年に現在と同じ位置に前身の「鷹栖橋」、明治37年に初代「旭橋」が架けられ、現在の「旭橋」は昭和7年に完成した3代目のものです。ドイツから輸入した鋼が美しいアーチ形状と重厚感を出しています。750以上の橋がある旭川の象徴的な橋で、多くの方々に親しまれ、愛されている橋です。

平成14年には土木学会が選ぶ土木遺産に、平成16年には北海道遺産に選ばれたほか、平成19年には旭川市の景観重要公共施設に指定されています。



## 5 アーバンスクエア八条さくや町(景観協定) 8条通11~12丁目

平成20年に認可された、景観協定を結んだ区域です。

この区域では、壁面の位置や色彩、緑化などについて制限しており、外壁の色は白、グレー、茶、ベージュなどとするほか、道路からの見え方に配慮するための制限も設けられています。これらのルールを守ることで良好な景観を創り出しています。

また、各住宅でシンボルツリーを植栽したり、住宅の周りを低木などで緑化しているのも特徴的となっています。



## 6 松岡邸(第1回都市景観賞) 6条通13丁目

大正14年~昭和2年かけて建築された、旧松岡木材社長の自宅兼社屋です。板壁の木造2階建住宅で、入母屋屋根の和風棟に切妻屋根の洋館が接続しています。和風棟は日本の伝統的な意匠を現代に残しています。現在も良好な状態で保たれており、旭川の歴史を物語る建物として地域のランドマークにもなっています。

住宅に隣接して、事務所として使用されていた建物も現存しています。

平成13年には国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。



## 7 西倉倉庫群(第5回旭川市景観奨励賞) 5条通13丁目

明治時代の創業から現在まで、現役で使用されている倉庫です。

4・5仲通り側の切妻屋根の4棟は美瑛軟石で造られています。

旭川市内で石造りの倉庫群として現存するのはここだけで、希少性と歴史的な雰囲気が感じられます。

5条本通側は整備された歩道と調和し、4条通との仲通側は時の流れを感じさせるたたずまいであり、各々異なる趣をもっています。



## 8 旧岡田邸(第6回旭川市景観賞) 5条通16丁目

昭和8年に、当時「見積りもない建て方」と称されたほど贅を尽くして建築された和洋折衷の住宅です。酒造会社の創業者の邸宅として建築されました。皇族が来局した際に宿泊するなど、迎賓館としても利用されていたようです。

建物の取り壊し計画が持ち上がったときに、市民有志による保存活動が展開され、現在は飲食店として再生されています。

平成24年には、国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。



## 9 高砂酒造(第5回旭川市景観賞) 宮下通17丁目

明治40年代に建てられ、高砂酒造の社屋として使用されてきた建物です。かつては「北海の灘」といわれた酒どころ旭川を今に残す代表的な建築物です。

平成13年度には、北海道屋外広告物コンクールにおいて、「伝統的な建物と大型のれんの調和が品格と歴史的な存在感を高めている」として旭川市長賞を受賞しています。

宮下通を挟んだ向かいにある鉄筋コンクリート造の作業所も、旭川における初期の鉄筋コンクリート造建築として貴重なものです。





## 10 The Sun蔵人(第1回都市景観賞) 神楽岡8条1丁目



市内中心部にあった、明治40年代建築の酒造会社の石造倉庫を解体し、使用されていた約3000個もの美瑛軟石を積み上げて再生した建物です。当時の面影を残して建てられた建物は、当初はビアホールとして、現在は菓子店として利用されています。

駐車場の植栽、看板、照明にも周辺環境に対して質の高い気配りが見られ、神楽岡公園や周囲の緑地と調和するゆとりの空間を形成しています。プラタナス並木道の入口にあって、雰囲気をつくり出している建物です。

## 11 神楽岡通線(第1回優良景観認定施設)

神楽岡8条1丁目～緑が丘3条4丁目



神楽岡公園から環状線まで、約2.8kmにわたりプラタナスが植えられており、立派に成長したプラタナスの枝葉が車道の真上を覆いつくし「緑のトンネル」と形容されるような見事な並木路を構成しています。

以前は通り沿いに教会やレストランが建ち並び、地元では「ロマンティック街道」とも呼ばれています。プラタナス並木としては国内最大級とも言われている、すがすがしい雰囲気の通りです。



## 12 就実の丘 西神楽就実地区



旭川西神楽地区で、旭川空港の南東に広がる丘陵地は「就実の丘」と呼ばれ、口コミや雑誌の紹介などでその知名度を上げている場所です。広大な丘陵地からは旭川市外や大雪山連峰・十勝岳連峰が一望できます。また周辺の畑作地は美しい農村景観を作り出しています。

平成23～24年度に実施した「旭川景観コンテスト」で最も写真の応募が多かった場所です。(周辺は農地ですので、見学する際には立ち入らないようご注意願います。)



## 13 旭川空港グリーンポート 東神楽町2線16号



旭川空港の敷地内にある公園です。平成11年にリニューアルされました。

気持ちの良い芝で覆われた小高い丘になっており、空港に発着する飛行機を間近で見学できます。

旭川空港は、平成10年の拡張工事で緩傾斜面、照明、駐車場などを含めた全体のデザインコントロールが図られたり、空港からの大雪山連峰の眺望を阻害していた屋外広告物を取り除いたことが評価され、第4回優良景観認定施設に選ばれています。



## 14 科学館からの眺望(北彩都あさひかわ) 宮前1条3丁目



平成8年から進められた「北彩都あさひかわ」の整備事業も完了の時を迎えます。土地区画整理事業、鉄道高架事業等により、新しいJR旭川駅舎を中心として、既存の都市空間と、忠別川の自然空間の調和した、新しい旭川の顔というべき都心景観がつけられました。この、北彩都あさひかわの景観形成は、国が実施する都市景観大賞において平成27年度「都市空間部門」大賞を受賞しています。科学館の屋上からは、そんな北彩都あさひかわ地区が一望できます。



### 15 市民活動交流センター CoCoDe(第6回旭川市景観賞)

宮前1条3丁目

明治31年に官設鉄道上川線が開通したことに伴い、翌年の明治32年に工場として建築された建物です。旧国鉄工場建物として現存するものとしては最も古いものの一つとされています。

当時の外観をそのままに、現代の技術で改修し、市民活動交流センターとして活用されています。レンガ造りの外観は、この地区の景観づくりの核になっています。

平成27年度には、国の登録有形文化財(建造物)に登録されました。



### 16 北彩都ガーデン 宮前2条2丁目

旭川市の中心部にあつて豊かな自然が感じられる、新しい憩いの場です。旭川駅南側から宮前公園に向かって、様々なテーマを持った空間が広がります。また、大池のほとりにあるガーデンセンターは、ガーデンの拠点施設としてボランティア活動や講習会等での利用や、冬の歩くスキーの休憩所として利用されています。



### 17 旭川駅(第6回旭川市景観賞) 宮下通8丁目

全国的にも珍しい、川に隣接した駅です。駅舎を通じて、駅南側にある忠別川のもたらす自然と、駅北側の買物公園を中心とした都心部が一体となっている様子は、他に類を見ないものです。ホームに見える特徴的な柱や、買物公園から北口へと通りがまっすぐに見える様子など、駅舎そのものも旭川のまちに新しい風景をつくり出しました。また、駅のホームから山並みを楽しめるなどの工夫も凝らされています。旭川の新しい玄関口としての魅力のある駅です。

## ～旭川の景観豆知識～

### ○旭川八景

旭川の景観に対する市民の認識を高めるとともに、誇りと愛着をもてる旭川らしい景観をこれからも守り育てていくために、市民投票をもとに平成9年に選定されました。旭川を代表する景観として、市民や観光客の方々に親しまれています。



旭橋



嵐山と  
嵐山からの眺望



外国樹種見本林



神居古潭



旧偕行社  
(旭川市彫刻美術館)



ダイヤモンドダスト



常磐公園



平和通買物公園